

生徒指導だより

令和6年度 七塚小学校
校長 稲垣 優子

担当 開田 修平
7月号



の生活目標「きまりを守って1学期を気持ちよく終わろう」

今月の生活目標は代表委員会で話し合い、「きまりを守って1学期を気持ちよく終わろう」に決まりました。とてもすてきな目標だと思います。

どうしてきまりがあるのでしょうか。「廊下を走ってはいけない」を例に考えてみましょう。廊下を走る人がいるとどんなことが起きるのでしょうか。例えば自分は大丈夫と想着いても、万が一ぶつかったら正しく歩いている人もけがをしてしまうかもしれません。ですから、走っている人がたくさんいる学校は安全な学校とは言えません。みんなが廊下を走らないようにすることで、安全で安心な学校になります。他のきまりも守ることで気持ちよく学校生活を過ごすことができます。

学校では「夏休み中のすごし方」として夏休みのきまりを配付します。内容について学校でも指導しますが、きまりを守ることでだれもが安全で安心な夏休みを過ごすことができるようご家庭でも話し合ってみてください。



メディアルールについて

夏休みはタブレットを持ち帰ります。タブレットの使い方やルールは、「タブレットのやくそく（夏休み用）」をご覧ください。ネットやゲームは、使い方を間違えなければ、便利なものです。しかし、大人でもゲームやネットの依存症になったり、ネット上のやりとりが原因で他人とトラブルになったりすることもあります。子供達がタブレットを安全に、安心して利用できるように、ご家庭でもメディアルールを決めて、守るようご指導をお願い致します。

令和2年2月制定

RULES

かほく市ネットルール 共同宣言

かほく 家族で決めよう
ネットのルール

かほく ホントかな？
ネットの情報 正しく判断

かほく 狂わせないで生活リズム

かほく 使うのは、1日1時間
小学校 8時(低学年)、9時(高学年)
中学校 10時 まで

かほく 個人情報、人の悪口 載せちゃダメ
(かほく市3中学校生徒会より)

かほく市PTA連合会 かほく市小中学校長会
かほく市教育委員会 かほく市少年スポーツセンター

お子さんをネットトラブルから守る 「かほく市ネットルール」

危険性を知る

ゲーム・ネットにはメリットや楽しみもあります。しかし、大きなデメリットや危険性も指摘されています。

2017年度、全国で「インターネット依存」の疑いがある中高生が、推計約93万人いるという調査結果（中高生の約12～15%、5年前の1.8倍）が発表されました。【国立労働安全衛生院（代後・関係機関共同調査）】また、世界保健機関（WHO）は、ゲームのやり過ぎで日常生活が困難になる「ゲーム障害」を国際疾病として正式に認定するなど、世界的にも大きな問題となっています。

大切なお子さんを「ゲーム・ネット」トラブル（依存）から守るには、家族の愛情と「危険性への知識・対応」が大切です。

使うのは1日1時間

ゲーム・ネットの過剰使用は、健康状態の悪化（不眠症・感情コントロールができない）やめられない・集中・記憶に支障等につながる危険性があります。（高校生以上のスマートフォン・アプリ利用とネット依存傾向に関する調査報告書：2014年）

小学校	低学年 8時まで 高学年 9時まで
中学校	10時まで

子どもを守るフィルタリング

フィルタリングは、有害（性的・反社会的など）情報からお子さんを守るために、インターネットへのアクセスをブロックする方法です。またペレリタルコントロールは、スマホやゲーム機等の利用について親が制限する取組です。これらの設定を行うことで、有害サイトをブロックしたりゲームの課金を防止したりすることができます。

これらの方法は万端ではありませんが、お子さんの安全・安心な環境をつくるためにフィルタリング設定をお願いします。

家族で危険性やルールを話し合い

ゲーム・ネットには、「依存」「有害情報」「ネット上の悪口やいじめ」「個人情報（写真・動画）の掲載」など危険が多くあります。1つの画像から個人が特定され、犯罪に巻き込まれるというショッキングな事件も発生しています。

お子さんと一緒に「使う時間や場所」「使い方（人を傷つける書き込みをしない）」などのルールを決めましょう。ルールを守っていくことで、お子さんが守られます。また、お子さんの成長に合わせて、ルールを見直ししていくことが大切です。

大切なお子さんを、一緒に守っていきましょう。